

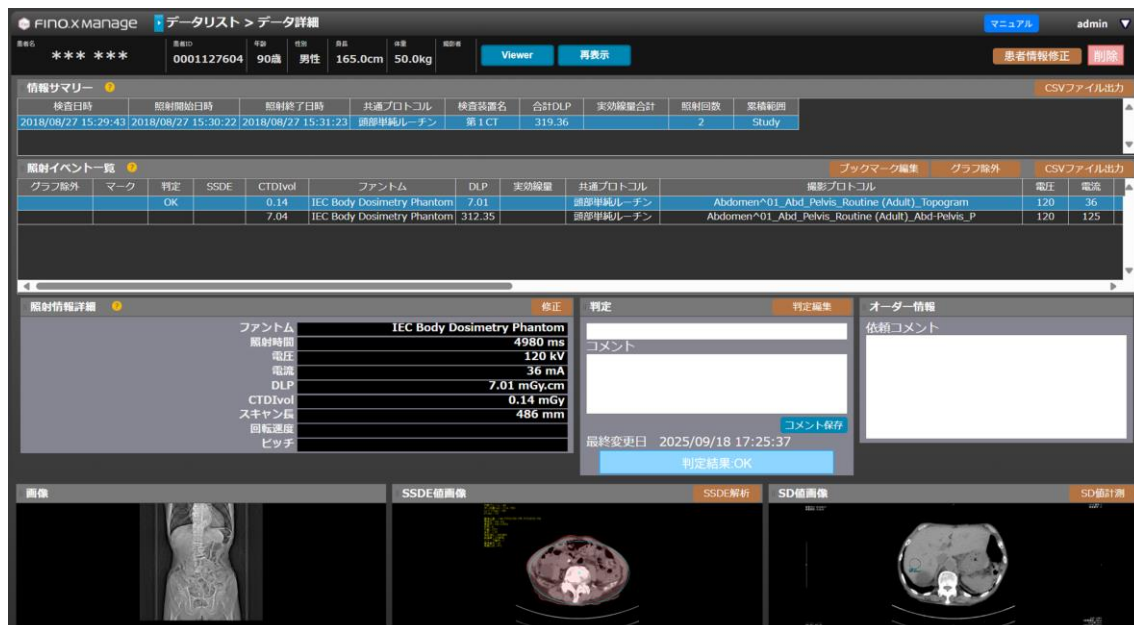
News Release

医療被ばくの最適化を支援する線量管理システム、 日本の診断参考レベル(2025 年版)に対応した新バージョンをリリース ～医療被ばくの線量最適化、業務効率化を支援～

2025 年 11 月 25 日

コニカミノルタジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：一條 啓介、以下 コニカミノルタジャパン）は、画像診断における医療の質の向上や業務効率化を目指す被ばく線量管理システム「FINO.XManage（フィノ エクスマネージ）」において、日本の診断参考レベル(2025 年版)（以下、Japan DRLs 2025）※¹ などに対応した新バージョンを本日より提供開始いたします。

本バージョンでは、医療被ばく線量の最適化と線量管理の効率化を支援し、医療現場と患者さんの安心・安全の確保や、医療機関における制度対応を支援します。



TOP 画面イメージ

■開発の背景

「FINO.XManage」は、放射線業務の総合的マネジメントを支援する被ばく線量管理システムです。線量管理システムにおいて国内で多くの医療機関に導入されており、データの一元管理や医療被ばくの線量最適化、線量管理業務の効率化などをサポートしています。

2020 年の医療法施行規則改正により、放射線診療機器を備えるすべての医療施設において線量

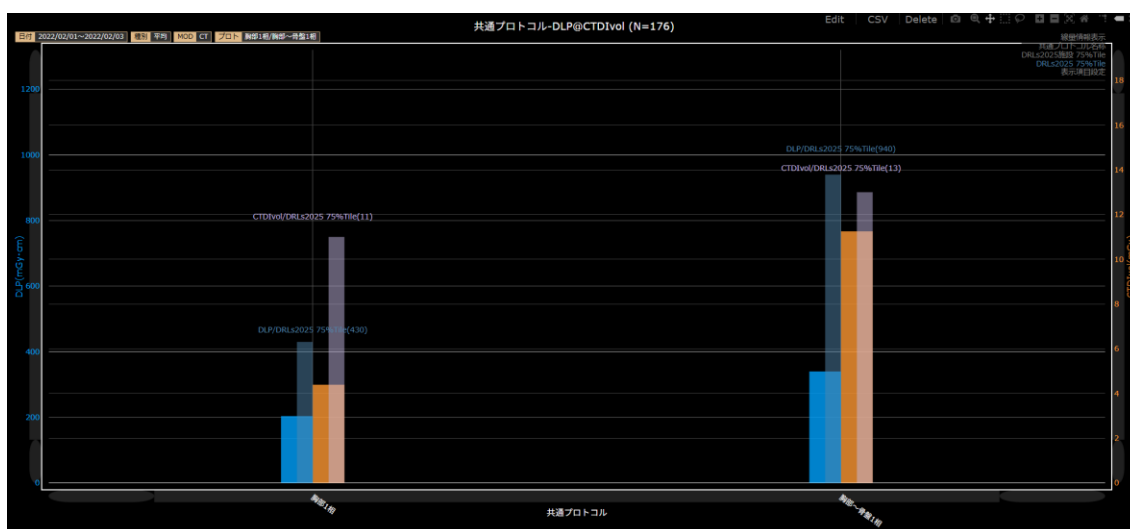
管理・記録の義務化が進みました。2025 年には診断参考レベルの改定があり、医療施設にはより適正な線量使用が求められています。

コニカミノルタジャパンは、これらの制度改定に対応し、医療被ばく線量の最適化とトータルマネジメントを支援するソリューションとして、本バージョンを開発しました。

■「FINO.XManage」新バージョンが提供する価値

1. 医療被ばく線の最適化、業務効率化を支援

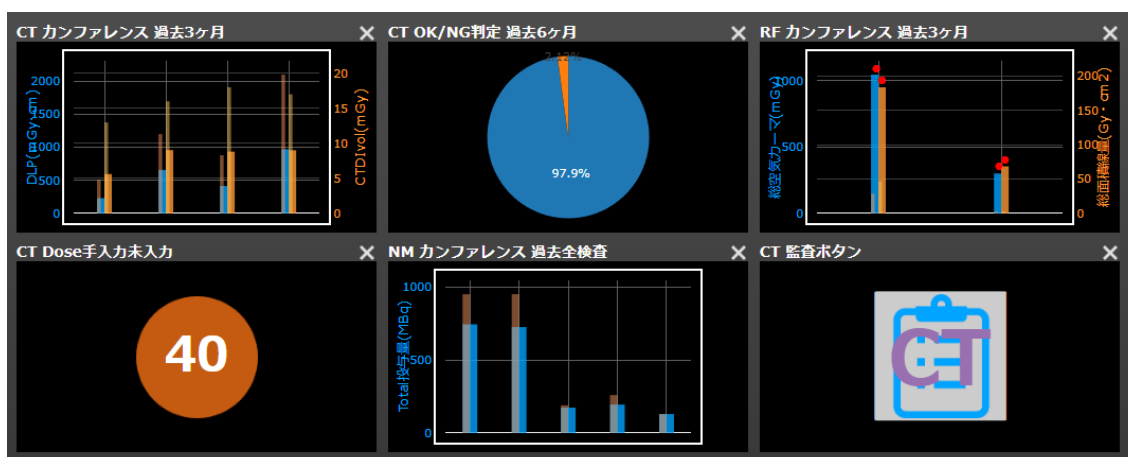
Japan DRLs 2025 に対応し、放射線診療機器単位の被ばく線量と Japan DRLs 2025 との比較が可能です。数値の見える化・分析により、放射線診療機器ごとの線量最適化に寄与し、安心・安全な医療提供と医療機関の線量管理業務効率化に貢献します。



Japan DRLs 2025 との比較画面イメージ

2. 分析や判断のスピードと精度の向上

必要な情報を直感的に把握できるダッシュボード機能を搭載し、検査プロトコルごとの線量傾向や次に取るべきアクションを可視化します。各数値を素早く把握し、複数人で同じ認識を持って迅速かつ正確な判断を支援します。



ダッシュボード UI 画面イメージ

3. 医療監査業務の効率化を支援

日本医学放射線学会が提供するフォーマットに準拠したレポートをワンクリックで自動生成します。これにより、事務作業の負担軽減と監査対応の効率化を実現します。

1 / 1

CT検査 線量管理実施記録(線量調査)

1. 装置名

2. 調査方法
2024年10月21日から2025年10月21日までの線量記録から、診断参考レベルが設定されたプロトコルのCTDIvol [mGy]およびDLP [mGy・cm]を調査した。
成人については、体重50～70kgを条件とした。
小児については、頭部は16cmファントムによる値、胸部及び腹部は32cmファントムによる値を用いた。
条件を満たす連続30例の中央値を求めた。30例に達しない場合、使用可能なデータの中央値を求めた。

3. 調査者
ユーザー1

4. 調査結果

4.1 成人CT

	当院		DRL		例数	調査期間
	CTDIvol	DLP	CTDIvol	DLP		
頭部単純ルーチン	62.03	1090.01	67	1260	812	2024年10月21日～2025年10月21日
胸部1相	4.69	190.58	11	430	1545	2024年10月21日～2025年10月21日
胸部～骨盤1相	7.76	565.03	13	940	1201	2024年10月21日～2025年10月21日
上腹部～骨盤1相	7.83	373.64	14	720	1413	2024年10月21日～2025年10月21日
肝臓ダイナミック	8.42	905.86	13	1630	220	2024年10月21日～2025年10月21日
冠動脈	39.42	543.16	57	940	41	2024年10月21日～2025年10月21日

4.2 小児CT(頭部)

	当院		DRL		例数	調査期間
	CTDIvol	DLP	CTDIvol	DLP		
1～4歳	25.14	411.74	34	610	1	2024年10月21日～2025年10月21日
5～9歳	43.62	734.75	44	810	13	2024年10月21日～2025年10月21日
10～14歳	41.00	723.01	55	1000	12	2024年10月21日～2025年10月21日

報告日: 2025年10月21日
報告者: ユーザー8
医療放射線安全管理責任者: ユーザー9

日本医学放射線学会が提供するフォーマットのレポートイメージ

■FINO.XManage について

FINO.XManage は、各放射線診療機器または PACS から出力された線量情報を蓄積し、被ばく線量の最適化を支援します。線量と画像の両側面より線量管理を行うことが可能であり、様々なグラフと共に線量情報の可視化、分析が行えます。

※1 日本の診断参考レベル（2025 年版）（Japan DRLs 2025）は、医療被ばく研究情報ネットワーク(J-RIME)が定める診断参考レベルの最新版です。

※本製品は医療機関向けであり、一般販売は行っておりません。

※「FINO.XManage」は、コニカミノルタ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。

※本資料に掲載した画面表示の仕様は、今後、改良のために変更される場合があります。

※本資料に掲載している画面イメージおよびデータ例は、すべてイメージ（サンプル）です。

実際の医療データや患者データではありません。

【お客様のお問い合わせ先】

コニカミノルタジャパン株式会社

ヘルスケア サポート・お問い合わせ

<https://www.konicaminolta.jp/healthcare/support/index.html>

----- 報道関係お問い合わせ先 -----

コニカミノルタジャパン株式会社 コーポレート本部 広報グループ

TEL : 03-6311-9460